

刊夕日四十月三

常磐毎日新聞

定価 一円六分
 一ヶ月五拾銭 郵費五拾銭
 廣告料 五拾二文字 一行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社



よき家に
人は生きる

と、学校の作文の時間に少年にんじんがペンを走らせる場合など、われわれはそこに見逃せない家の教育を思ふのであります。

四 反対に一家の和樂と團樂の缺乏してゐる家は、冷めたく痛々しいものであります。子供達は家庭そのものから離れさせてはならないのであります。家庭愛に飢へた子供達、家庭の暖かい雰圍氣の味へない可憐な子供達は、満たされぬ所に何物かを求めやうとして外へ外へ起つて行く結果は、應て邪惡の淵にも陥つてゆくやうな悲しい事實を私共は毎日見聞して居るのであります。

五 暖かい家庭は、一家の誰もが健康であることに注意し合ひ、一日のめい／＼の

- 朝 味噌汁・ねぎ 小付 うぐいす豆
- 晝 牛肉大和煮 金山寺味噌
- 晩 味噌漬 小鳥の焼物 酢の物 さうり

仕事にいそしんで、強い精神に生き、清潔な衣服をまとひ、美しい音楽と有益な圖書に親しみ、小さな庭にも自然の恵みを感じるやうに努め、子供達は素直に成長させて、次の来るべき時代のためによい教育をするやうにすれば、國民の道徳心はこの暖かい家庭に培はれ、我を忘れて我が家族のために盡す恩義と犠牲の精神も發露してくるのであります。

私が委任 統治地域 たる南洋 群島は六百二十三の島嶼から成るが其の總面積はほとんども東京府と同じ位。

と子と、誰も心が、離れ／＼になつて憎み、嫉み、貪り、惜しむ家庭の破曲をまざまざと見せつけられるのであります。

『家庭とは同じ屋根の下に到底解け合へない人間が無理矢理に集つてゐる所である』



小鳥 勝村俊夫

目頭がぼうと霞んでハラ／＼と 冷たい涙が頬を傳はるのでした

澄んだ職が風につて來ました 愛らしい小鳥が傍の丸木に止りました 天國にあられる父母君が 使の小鳥をよこしたのでせう

紫色の羽毛が陽を浴びて居ります お、可愛ゆい小鳥よ お前は遠い天國の園から私を慰めに來てくれたのか有難う

私は心から感謝しました 日が西に傾いて遠寺の鐘の音…… 小鳥はバツと飛び出しました

きつと父母君が呼んでゐるのでう ビーチク…… として二度頭上を廻ると西空へ消えて行きました

玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

正確な 眼鏡は……當店へ

特價販賣

正確な 眼鏡は……當店へ

獨逸ユーバンネ
 ブンクトリヒレンズ 特約店
 トリックレンズ亂視其他
 各種豊富に取揃へてあります

店主	か	を	店
運	れ	運	主
れ	る	れ	か
て		て	店
行		行	員

正 シイ 酒場
 正 シイ 喫茶
 正 シイ 食堂

平・田町
 レストサロン
 電二五三番

株式賣買債權取立
 合資 三 共 商 事
 大町 電話三六〇番

電話新設
 電話五一八番
 平町松ヶ岡公園内
 春 木 亭

新學期 通學服賣出

男兒用 紺サージ金釦服…3.60
 紺小倉服…1.60
 女兒用 紺セルセーラ服…2.60
 特製黒小倉服…3.60

お嬢ちゃんお坊ちゃん 方の可愛らしい通學服を豊富に取揃へ特賣提供

ふかや洋服店 平電 298

お醤油は……ヤマフル

醬油味噌
 たひら 正宗
 鯉節 食料品

鹽 屋
 金山崎合名會社
 福島縣平町電話營業部製造工場
 明治生命警備代理店 山崎 與三郎

各區平穩裡に

當選者決定

庶民金庫の總代

喜ぶべき協調精神の發露

既報信用組合平庶民金庫の總代改選は昨日執行され、たが前日に於て白熱的競争を演じ相互扶助的庶民金融の機關に一汚点を残したる感あるに鑑み今回は各區共候補者の割當其他に慎重を極め競争回避に萬全を期した結果概して平穩裡に夫々解決を告げた模様である、ただ二三定員超過の區もあつてその折衝に多少の波瀾を生んだ向もあり殊に第七區の田町搔樋小路の如き容易に圓滿協調を保ち得なかつた難色も見えるが同區は選舉管理者阿部政右衛門、藤田榮助兩氏の奔走努力に依つて結局阿部氏の指名に依り無事決定するに至つた爲め前回の如く流會となつた選舉會等一ヶ所もなく左の如く夫々廿一名の總代當選者の確定を見たのは今後の組合事業進展の上にも好影響を齎らすべく一般組合員より大成功として喜ばれて居る

- 第一區 川崎 文治
- 第二區 吉村 安次郎
- 第三區 吉田 寅之助
- 第四區 馬目 雅治
- 第五區 柏原 眞吾
- 第六區 渡邊 貫一
- 第七區 高野 虎三郎
- 第八區 鈴木 長三郎
- 第九區 丹野 周一郎
- 第十區 諸橋 國松
- 第十一區 荒川 淺次郎
- 第十二區 岡田 政次郎
- 第十三區 大森 勇
- 第十四區 小松 茂
- 第十五區 高野 吉太郎
- 第十六區 高橋 龜松
- 第十七區 多田 笑

五日午後一時から浪江小學校講堂に於て舉行される縣

教員會の總會開催

郡下小學校教員會は今十四日午前十時から平第一小學校に役員會を開き總會開催の日取其他の件に付いて打合せたが總會は四月三日の豫定である

櫻花季を前に公園のお化粧

常磐線主要驛に

二十五六の立看板 處から常磐線主要驛に立看板二十五箇を掲げる事となり町役場は本市内四看板店に宣傳用圖案の作製費見積方を命じた

自動車検査場の地鎮祭明日舉行

既報通り各警察署管内自動車協會支部が工費四千圓で平町八幡小路地内水道場

郡下在郷軍人の大會を開催

忠魂祭當日に

石城在郷軍人聯合分會は本月廿日午後一時からマルトモホールに評議員會を開き本年度豫算並に來月十日概

適材を適所に配す

平第一高等生の智能検査

大半職業戦線に進むべき平第一小學校高等科卒業生九十八名の技能長所を明らかにし適材を適所に配して將來の大成を期すべく今十四日全校講堂に於て測定器及び試問による智能検査を行つた

平産看卒業生

平町南町平産看看護婦學校の二十八回卒業式は來る十六日午後一時より同校講堂で舉行されるが本年度卒業生は左記の如く産科科四十名、看護婦科八十三名の百二十三名である(イロハ順)

- 藤ウシ 海老根ナミ 五
- 十嵐タイ 榛澤ユイ子
- 長谷川ヨシノ 芳賀マサ
- イ 西郡キミ子 西山ト
- ヨ子 西郡ユリ子 新妻
- キヨ 本田キミ 富田貞
- 子 大友ヤエ子 荻野久
- 子 折笠ミエ 大津ミヤ
- エ 渡邊スイ子 藁谷福
- 子 渡邊キヨ子 渡部タ
- ミ 渡邊ツヤ 渡邊ユキ

- 綿引美世子 渡邊ハツヨ
- 渡邊フク 渡邊キヌ子
- 加藤君子 金成クニ 上
- 妻智枝子 金成ヒデ子
- 菅挿アキ 吉葉チヨノ
- 高島ミヨシ 田中ササ子
- 高萩ミツ 高井春子 高
- 野キヨ 丹ツネ 武士は
- 園部アイ子 内藤ツ
- ル 植野清子 山崎シヅ
- エ 山崎ヒデ 馬上クニ
- 子 増田百合子 松本幸
- 子 小林セツ 阿久津ト
- 子 新谷美代 我妻マ
- サ子 小豆畑シヅ 佐藤
- チカノ 佐藤アヤ子 西
- 丸ヨシ 坂本マ 佐藤
- 歌子 佐藤潔子 佐藤リ
- ツ 木村テル子 木田イ
- クヨ 木村スイ子 木田
- ラツ子 菊地雪子 木田
- キミ子 目黒チヨイ 水
- 野ヒメ 白井イト 志賀
- ヨシエ 島田延子 鹽原
- トキ 四家ヨシ 比佐静
- 子 平澤イソ 關口クニ
- 清野やい 鈴木キヌ子
- 鈴木マサヨ 鈴木チヨ子
- 鈴木コト 鈴木ミヨ子

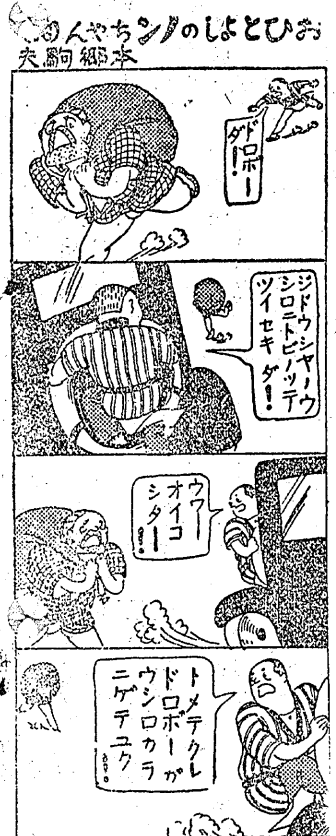
市原醫院

電話一四四番

- イ子 長山登茂子 山崎
- ヒテ 松本幸子 小林セ
- ツ 阿久津トシ子 坂本
- マス 佐藤歌子 木田イ
- クヨ 木田ラツ子 木村
- タル 目黒チヨイ 白井
- イト 志賀ヨシイ 島場
- 宮子 鹽原トキ 比佐静
- 子 關口クニ 清野やい
- 鈴木ミヨ子 鈴木定子

平町人事

- △新川町二四佐藤正巳氏長女瑛子
- △立町六加藤林豊造氏三男弘
- △南町五四鈴木唯雄氏四男良三



印刷の御用は設備完全
「常磐毎日」
電話六三〇

全村舉げて

復興に努む

大野大火の対策

早くも建築用材が續々

既報一廿三戸七十六棟を全焼した大野村宇中島部落救済の爲め同村にては村費三千六百圓を投じ取り敢えず同部落にバラック二十戸を建築して罹災者を收容する外村の共済資金より三百八十圓を罹災者に配分する一

方部落の復興資金は大字居住者の連帯責任によつて縣から三萬圓の低利資金を借入れ村内一戸一圓以上の義捐金を募る等全村を舉げて復興対策を構じ早くも建築材料が續々搬入されつゝある

裸一貫の

罹災者に同情

涙ぐましい美談が

隨所に現る

大野、大浦兩村の大火に依つて焼け出された約三百名近くの農民は殆んど裸一貫となつたので兩村當局も此の救済に涙ぐましい迄に懸命の努力を拂つて居るが罹災者に對する郡下の同情も續々と集中し左記の如く共存共榮の現はれが隨所に生れつゝある

△平町世界館雇人小賀坂チヨノさんは衣類十点に現金一圓を添へ本十四日平署に届けた

△同く本日朝内郷村巡査部長洲出へ一貧者よりとして五十錢づゝ二名の労働者が持参した

赤十字出席者

町役場で便宜を圖る

五月上旬東京市に開催される日本赤十字社總會に出席する平町の社員には總會入場券、汽車割引證等の便宜がある故希望者は來月五日迄に役場へ申込まれ度いと

本日現在受付數

今十四日正午現在に於ける各中等學校入學願書類左の如し
磐中 三〇八名
平商 五六名
磐女 二六二名

磐中上級入學

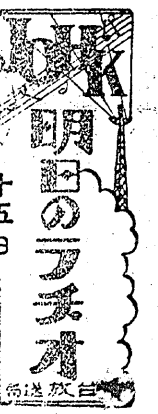
磐中に於ける其の後の上級學校入學者左の如し
東京齒科醫專第卅二回棟木四郎 全上第卅五回大竹誠之助

一家皆殺を計つた

ダイナマイト犯人

本日赤井村で檢舉さる

昨場平署は赤井村川瀬炭礦のダイナマイト窃取犯人の有力な被疑者として同礦坑夫加藤勇次郎事李福童(三)の行衛捜査の爲め昨夜より管内全署員を招集して特別執行を行った結果本十四日午前七時半福島炭礦坑内に潜伏中の犯人を赤井駐在遠



明日のラジオ
今晩の部
後六、〇〇 管絃樂 東京オーケストラ
後六、二五 英語講座 井手義行
後七、三〇 講演「五ヶ條の御誓文に就て」穂積重遠
後八、〇〇 吹奏樂團

明日の部
後八、二五 漫談「イモちやんの女中」西村樂天
後八、四五 俚謠 成田收玉
後九、〇〇 連續講談「大瀨半五郎」(一) 神田松鯉
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

コタツで大火傷
七才の幼女焼死
内郷村大字宮字町田居住金吉二女廣瀨ミサ子(七)は去る七日午後六時頃自宅の炬燵で衣類に火が移り腹部兩足に大火傷を負ひ悲鳴を上げて苦悶中を家人が発見手當を加へたが昨十三日午後二時死亡した

白慢話から
窃盜罪が暴露
磐崎村生れ目下住居不定無職佐藤美男(三)は去る十二日午前二時半頃浪江町停車場通りの火災を自分が一番真ッ先に発見したとさる自

裁判所より
△内郷村大字綴字七反田二四酒醬油販賣業鈴木朝光(三)は去月中取手の毀損した樹を販賣の計量に使用度量衡違反として罰金十圓
△上遠野村大字根岸吉野重次郎氏方自動車運轉手續田力三(三)はトラックを運轉全村大字瀧字瀧利田地内縣道を疾走中操縦を誤り道路側の電柱に激突してをり乍ら所轄植田署に届けず自動車取締令違反として科料十圓に夫々本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

後二、五〇 南加大學アメリカンフットボール試合
實況—神宮競技場中継—
後六、〇〇 子供の時間
管絃樂 東京オーケストラ
後七、三〇 講演「五ヶ條の御誓文に就て」文學博士穂積重遠
後八、〇〇 吹奏樂 桃谷演奏所より中継 指揮江口夜詩大阪吹奏樂團
後八、四五 俚謠 イ馬方節 成田修玉 秀子節 月野昭玉
後九、〇〇 連續講談「大瀨半五郎」神田松鯉

△鐵工 十九才 高卒
▽外交員 二十七才 高卒
▽土工夫 二十六才 高一
▽洗濯見習 三十以下 尋卒 給料面談
▽配達 十八才 尋卒 年三四十圓位
▽農夫 二十五迄 年給五十圓
▽配達 十八才 尋卒 年三四十圓位
▽洗濯見習 三十以下 尋卒 給料面談

回職を求める方
▽自動車助手 二十六才 中卒
▽外交員 二十七才 高卒
▽土工夫 二十六才 高一
△鐵工 十九才 高卒

一册の代金で
御希望通りな
五册の雑誌が
自由に讀める
川崎 回文庫
電話三三〇番
(申込次第規則書遣呈)

木村科醫院
平町六丁目橋際
電話三〇九番



明治太平記

(無断断断断)
上映及上演

(作) 寺島征史
(監) 野口雨江

第七十六回

百姓 牢 (二)

「歩けい」
獄吏の一人は水のやうな冷たい聲で促した
「地獄門をくぐるのか」
なんとなく、胸騒ぎがして、大志賀は自然そんな質問を發した
「未練があるのか」
獄吏は嘲笑つた
「氣味のよいものではな

い」
「あたりまへぢや、犯した罪が此地獄門をくぐらせるのぢや」
「罪？」
「閻魔堂でも詣つて行け」
「なんの、閻魔堂など尻喰へぢや」
地獄門をくぐり、えん魔堂を横目に見て、先に立つた獄吏は、突當りの〇役所へ行かずに右へそれた
「おい」
「何んぢや」
「お役所に居るのぢやらう」
「何か？」
「渡邊昇ぢや」
「合憎、こゝは彈正臺ではな」
「何に！」
「こゝは傳馬町らう屋、お

まへの楽しい住家ぢや」
獄吏の指差したの、東大寺(士族の入るところ)と向合つた別棟の百姓らうだつた
「これは百姓らうではないか」
大志賀は獄吏をハタと睨



んだ
「百姓らうに不服があるが」
「繩尻を取つてゐるのが冷やかに云つた」
「おれは士分だ、百姓らうなど無禮だぞ」
「抗辯は中へ入つてからにいたせ」

のやうに冷たい
「おれは士分だ」
大志賀は扉口で駄々をこねた
「こりや神妙にいたせ、婆とちがふぞ」
「いや、おれは彈正臺の渡邊昇に會つたのだ、百姓らうなど……」

獄吏は、大志賀の抗議を叩き伏せてをいて百姓らうの嚴重な格子外で「入れ！」と、内外に響き渡るやうな聲で叫んだ。すると格子内でそれに應へて「ありがたう」と云つた、繩取りの聲だ
「東京府下浮浪の徒、大志賀市之丞入らうでござる」
「承知いたしました」
その聲とともに、らうの扉がガチャン／＼と凄い音をたて、開かれた
「はいれ」
らう内の繩取の聲も死人

「くだい！ 地ごく門を潜つたおのれは、二度と婆の風にあたれるとおもうか入れ！」
獄吏は、なわじりをらう内役人にわたした、そしてとんと大志賀の肩を突いたその拍子にガチャン／＼と扉が凄い音をたてた。大志賀はいつの間にか、らう内當番所の前の土間廊下に立たせられてゐた
「おのれ！ おれをたばかつたな」
地獄太踏んで口惜しがつてみたが、重い扉は二度と開かれさうもない。

外科 内臓外科

レントゲン線
病室完備
學醫博士 諸 橋 鐵 彌
新川町二七 (電四六四)

藤沼醫院

平町・紺屋町
電話五〇七番

ランドセル

- 全部玉付の石板が樂に入ります
- 大型.....0.95錢
- 學修院型.....1.50
-2.00
-3.00
-5.50

カバンとポーシ 手提カバン

ツルヤ

平四・電一四〇

長唄御稽古案内

三味線お唄共に晝夜御隨意
出稽古も致します
平町一丁目南川岸
(渡邊銃砲店裏)

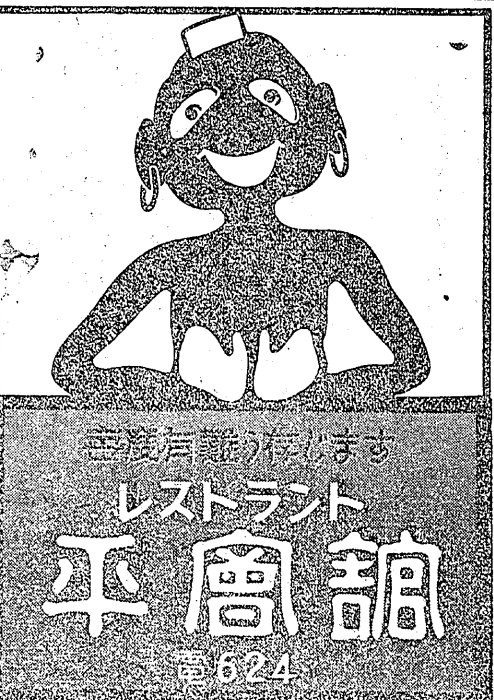
杵屋六美

木炭代用
月星豆炭 一八キロ壹袋
金八十錢
平 驛 前

阿部石炭商店

体温計の検査日です

10日 検新 機設 お宅の体温計は？
◎確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販入賣 西村屋藥局
平・二 電三番



レストラン 平岡館

電話624